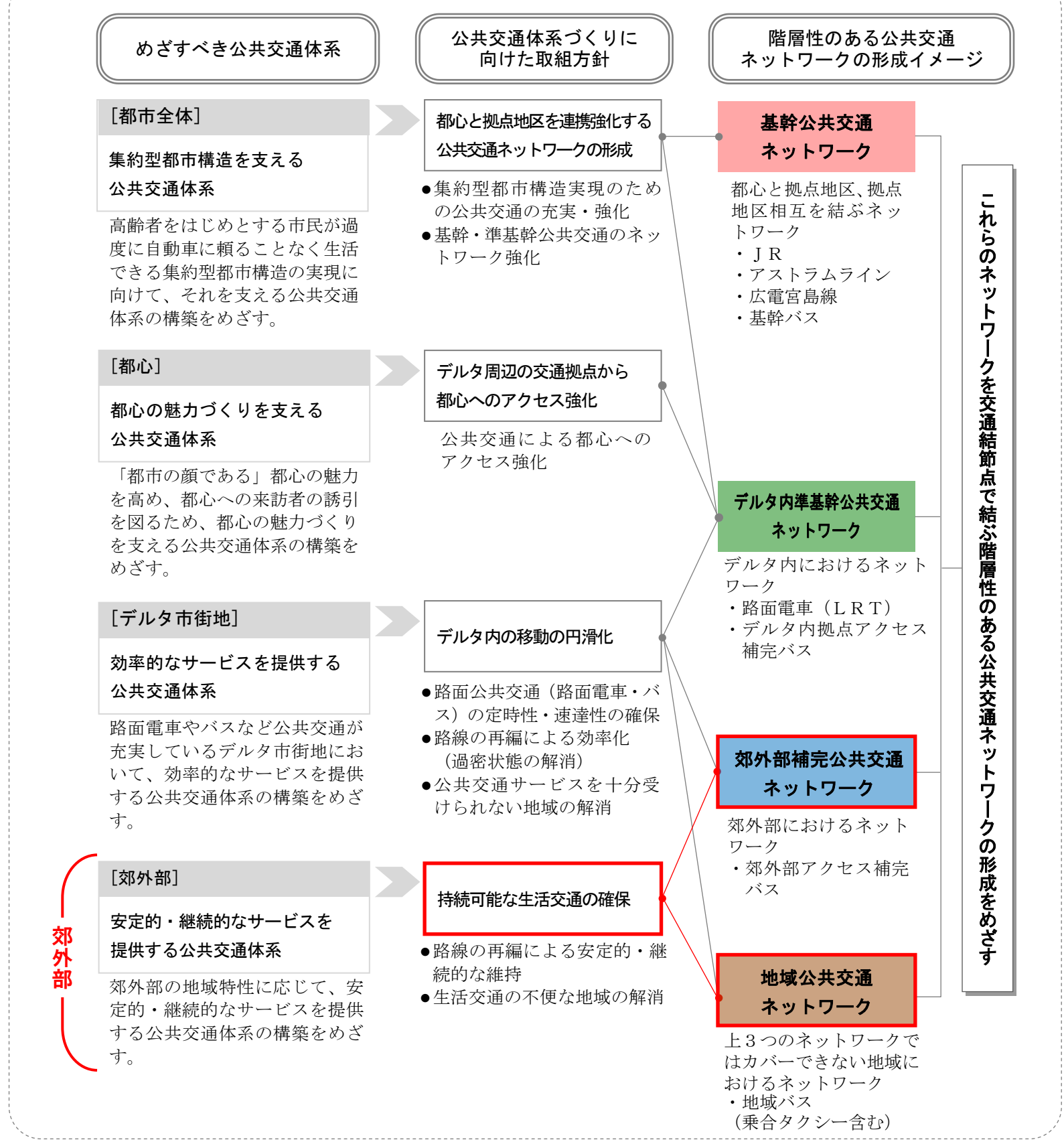


郊外部における公共交通の機能強化策について

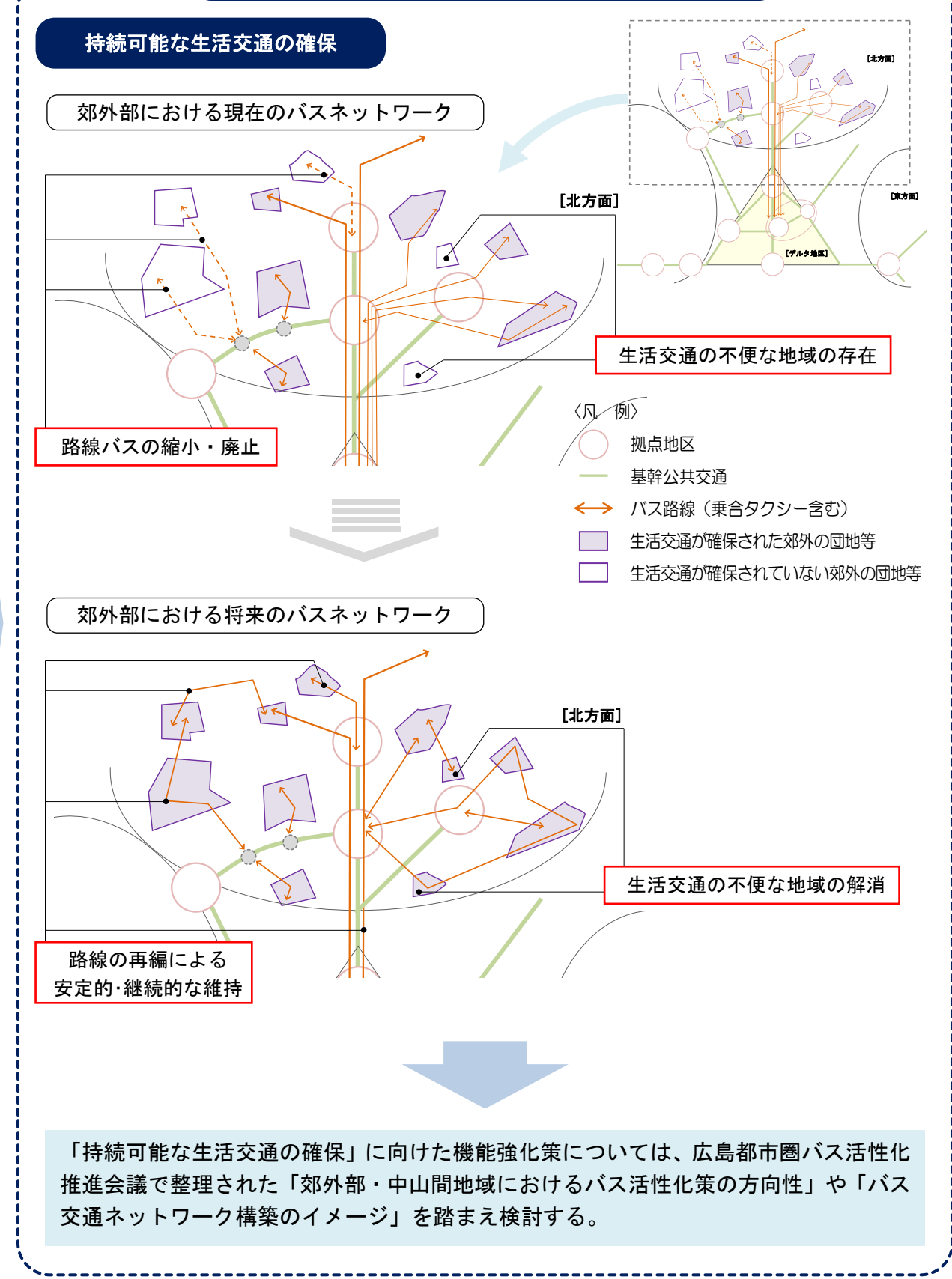
1 公共交通体系のあり方に基づく郊外部における公共交通の機能強化策の方向性

平成26年1月30日の特別委員会で示した公共交通体系のあり方で整理したとおり、郊外部の「公共交通体系づくりに向けた取組方針」は、「持続可能な生活交通の確保」であり、公共交通ネットワークの階層としては、「郊外部補完公共交通」及び「地域公共交通」の2つの公共交通ネットワークがある。この郊外部の公共交通ネットワークの機能強化策を検討するに当たり、「公共交通体系づくりに向けた取組方針」とともに広島都市圏バス活性化推進会議での議論を踏まえ、機能強化策の方向性を整理した。

(1) 平成26年1月30日の特別委員会で示した公共交通体系のあり方



(2) 郊外部における公共交通の機能強化策の方向性



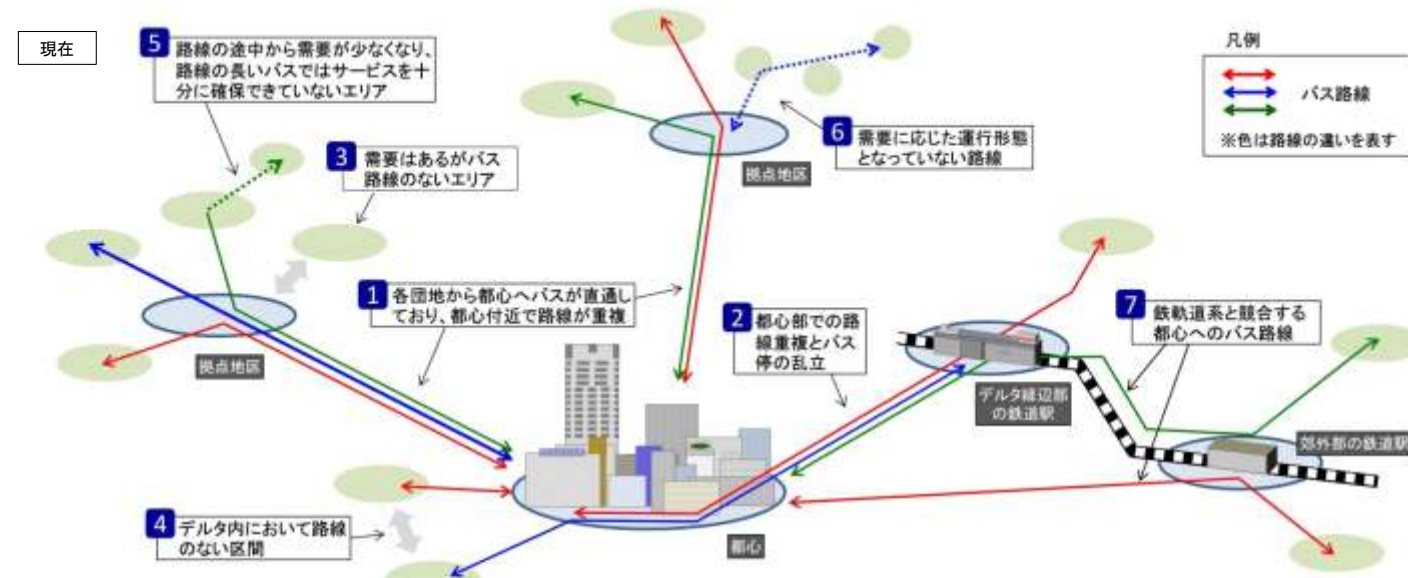
2 郊外部における公共交通の機能強化策の検討

(1) 郊外部・中山間地域におけるバス活性化策の方向性

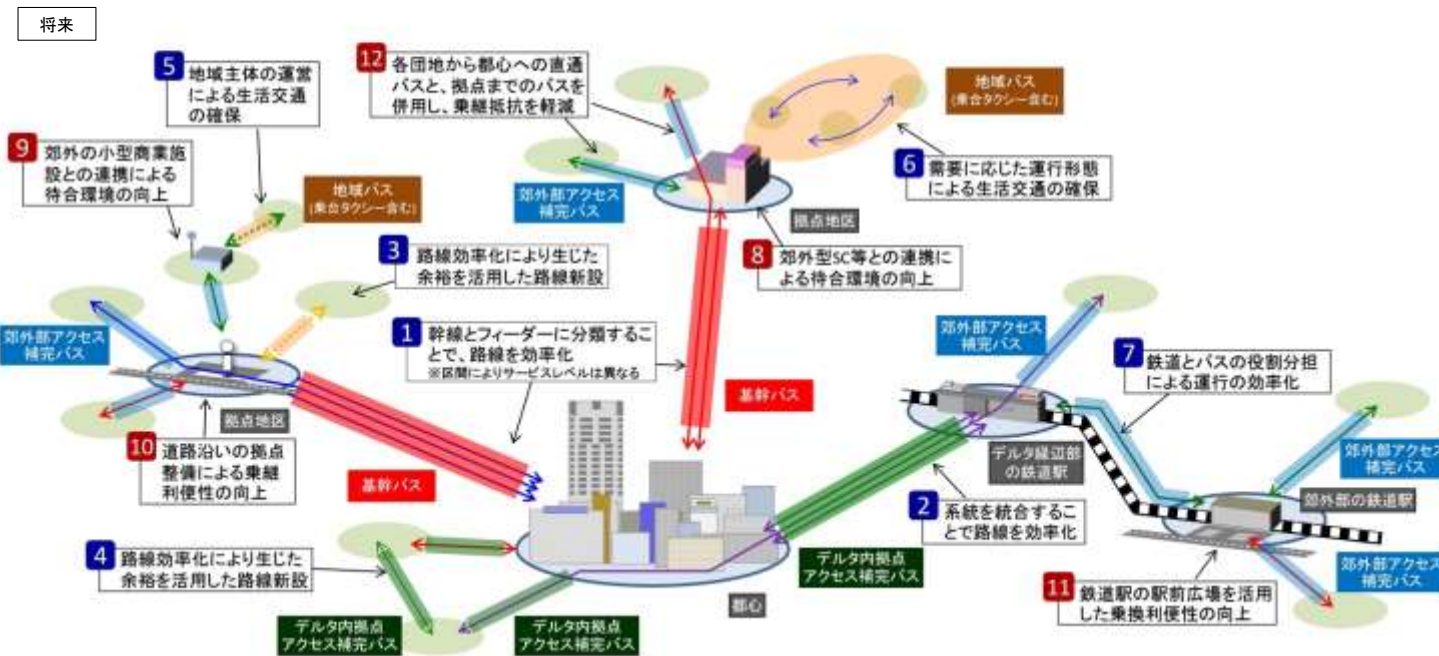
- ① 都心部のバス路線の適正化や乗継割引の拡充などとセットになった郊外部アクセス補完バス（フィーダーバス）の路線新設・再編や増便
- ② 交通結節点の機能分類とそれに応じた機能強化策の実施
- ③ 都心部のバス路線の適正化とのセットでの生活路線の新設・再編や増便
- ④ 中山間地域等における生活交通の最良な交通モード（路線バス、乗合タクシー等）選択と行政による財政的支援の見直しの検討

(2) バス交通ネットワーク構築のイメージ

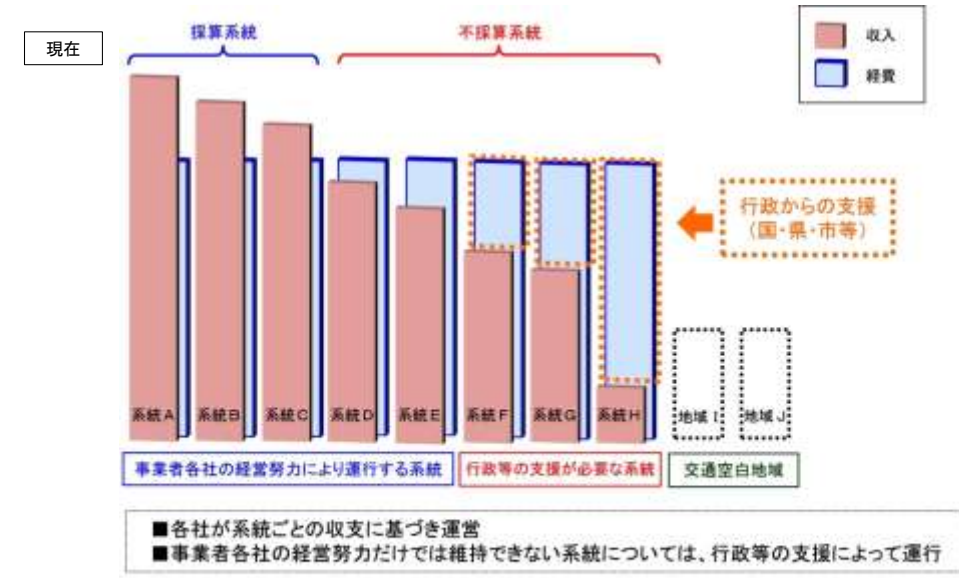
(a) 階層別バス交通ネットワークと交通結節点



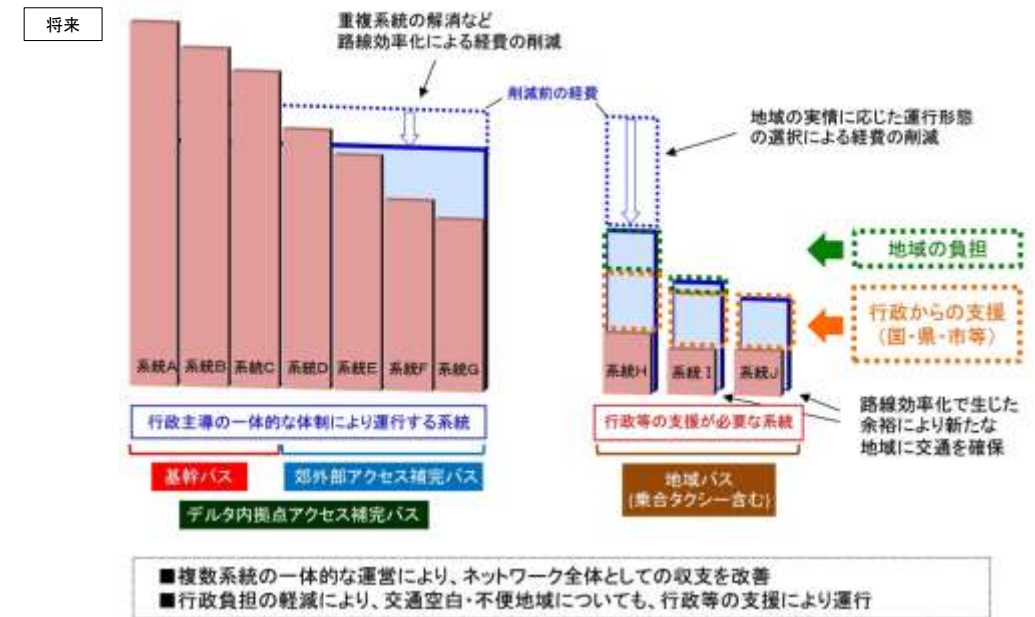
広島市の策定する計画に基づく
バス交通ネットワークの再構築



(b) 持続可能なバス事業の運営スキーム



ネットワーク全体の収支に基づき、
行政支援が必要な系統も含めた運営



上記を踏まえ、今後、具体的な機能強化策を検討する。